

いつも小社出版物をご利用いただき誠にありがとうございます。

「薬局」2010年11月号「配合剤の実力を探る」に以下の誤りがございました。深くお詫びするとともにここに訂正いたします。

●P.69 右段 下から3行目

誤：更新している病態で有効と考える。

正：更新している病態で有効と考える（表1）。

●P.70 左段 1行目

誤：β遮断薬との併用は進められない。

正：β遮断薬との併用は進められない（表2）。

●P.70 左段 下から9行目

誤：HCTZは用量依存的に尿酸値の上昇や電解質の異常などをきたすため低用量の配合として副作用の軽減をはかっている³⁾。

正：HCTZは用量依存的に尿酸値の上昇や電解質の異常（低K血症）などをきたすため、降圧効果と安全性の両面から低用量の配合で副作用の軽減をはかっている（図1）⁴⁾。

●P.71 左段 20行目

誤：GUARD-study¹¹⁾

正：GUARD-study¹²⁾

●P.71 文献欄

4) Saruta T et al: Antihypertensive efficacy and safety of fixed-dose combination therapy with losartan plus hydrochlorothiazide in Japanese patients with essential hypertension. Hypertens Res, 30(8): 729-739, 2007.

を挿入し、4) 以下は本文・文献ともに番号を1つずつずらします。また、

12) Bakris GL et al: Effects of different ACE inhibitor combinations on albuminuria: results of the GUARD study. Kidney Int, 73(11):1303-1309,2008.

を挿入します。